

「森のねんどで輝く未来のまちづくり教室」

実施報告書

- 【主 催】 SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム
<精華町・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）>
- 【後 援】 精華町教育委員会
- 【開催日時】 2024年7月6日（土曜日）、7月13日（土曜日）、7月20日（土曜日）
午前10時～12時 ・ 午後1時30分～3時30分
- 【開催場所】 S E I K Aクリエイターズインキュベーションセンター
- 【内 容】 木くずから生まれた「森のねんど」を使って、オリジナルのジオラマを作り、それにLEDの電子回路を組み込み、自分だけの温かみのある町を作る。
創作作業と簡単なプログラミング学習の融合。
- 【講 師】 森のねんど研究所 道康・けいはんなジュニアロボットクラブ 伊藤潤一
- 【参加対象】 学研都市に居住する小学1年生～中学生（小学4年生以下は保護者同伴）
- 【参 加 者】 午前・午後各10組 （20人）
- 【参 加 料】 4,000円
- 【広 報】 チラシ配布：精華町立小学校・中学校
チラシ配架：精華町役場、図書館
その他 ：精華町・K-Scanホームページ

【作業手順と様子】

- 1日目 ①環境にやさしい「森のねんど」がどうやって生まれたか。またどんな活動をしているかの説明。好きな形のベースと家、木を選ぶ。
②家の屋根に色ねんどでつける。木もねんどを盛って大きくしたり実をつける。
③道、家、木のレイアウトを考え、家と木がさせるようにベースに穴を開ける。
④全てのパーツを着色し次回まで乾かす。



2日目 ①道路、川、池、緑、花等をねんどで描き、町をつくる。

ねんどを重ねることで立体感を出す。

②主要な部分ができたら、家や木をつける。このときに、地面と家の下に空間が
できないように、ねんどをしっかりつける。

(空間があると、電気をつけたときに光が洩れるので注意)



3日目 ①サンプルプログラムで、家のLEDが点灯するか確認し光洩れのチェックをする。

②6個のLEDの点灯の順番を確認し、好みの順番に変える。

③6個の点灯時間や点き方、消灯時間や消え方を調整する。

④昼（全てが消灯している時間）と夜（点灯している時間）の時間調整をする。

⑤光が建物から洩れる場合はねんどで補修。

⑦工夫した点、気に入っているところなどを発表。



【参加者感想】 (数字は人数)

【1・2日目】ねんどのまちづくりはどうでしたか？

- | | | | | | | |
|---------|------------|-----------|-----------|----------|---------|---|
| ①ねんどの作業 | ・簡単すぎた | ・ちょうどよかった | ⑩ | ・むずかしすぎた | ④ | |
| ②説明 | ・わかりやすかった | ⑩ | ・わかりにくかった | ② | | |
| ③時間 | ・時間が足りなかった | ④ | ・ちょうどよかった | ⑫ | ・時間が余った | ④ |

【3日目】明かりをつける（プログラミング）はどうでしたか？

- | | | | | | | |
|----------|------------|---|-----------|---|----------|---|
| ①プログラミング | ・簡単すぎた | ③ | ・ちょうどよかった | ⑨ | ・むずかしすぎた | ⑧ |
| ②説明 | ・わかりやすかった | ⑩ | ・わかりにくかった | ② | | |
| ③時間 | ・時間が足りなかった | ④ | ・ちょうどよかった | ⑮ | ・時間が余った | ④ |

3回連続の教室はどうでしたか？

- ・よかった ⑩ ・良くなかった ① ・その他

【理由】

- ・ねんどの色がたくさんあったし、プログラミングも楽しかったから。
- ・説明がていねいで、わかりやすかった。
- ・いろんなくふうができたから。
- ・ねんどですんでみたいまちをつくれるのが楽しそうだったから。
- ・3回限定であれば負担にもならず集中して通えたので良かった。
- ・パソコンの使い方がすこしわかったから。
- ・でき上がりがすごく楽しみだったから。
- ・三回連続だとどんなふうに見えるか早くしれる。
- ・森のねんど（文化）とプログラミング（科学）が見事に調和していたのが良かったです。
- ・少しめんどくさかった。

感想【こども】

- ・町づくりは簡単かと思ったが、少し大変だった。せん細なことをすることが好きで楽しかった。
- ・ねんども楽しかった！電気をつけたらいっきに感じが出てよかったです。
- ・自分が住んでみたい町をねんどでつくれて楽しかったです。
- ・土台もこねて形にするところもしたかった。時間がなくて石垣っぽくしたかったのができなかったのが残念だった。
- ・プログラミングはとてもむずかしかったけれど、どんどんなれていくととても楽しかったです。
ねんどを使うときは、最初から楽しかったです。作品がとてもいい感じになりました。
- ・家に花がさいているところがすごく気に入っています。
- ・ねんどもすきな色でかざりつけができたり、自分がすきなように作れるので、かわいくなったかなと思いました。
- ・工作もすきだし、パソコンも使えたし、先生もやさしかったし、とてもたのしかった。またこんなイベントがあったら行きたくなった。
- ・森のねんどはふつうのねんどを使っていると思っていたら、森の木などのものを使っていたということを知らなかった。
- ・絵具でぬるのが難しかった。

感想【保護者】

- ・町づくりが思ったよりせん細できれいでした。楽しそうに作ったり、プログラミングをしていたので良かった。私も作りたかったです。
 - ・思っていた以上に素敵なジオラマができて驚きました！ねん土作業は熱中しました。（時間が足りなかった…）プログラムは子供（３年生）には難しそうでしたが、大人はものすごく興味深かったです。皆さんが楽しませてくれようとしているのが感じられました。
 - ・LEDを調整して自分の思い通りにしている時に、生き生きしていると感じて良かった。
 - ・１年生でも楽しんで取り組める内容で大変良かったです。
 - ・ねんど工作がすきなので参加しました。本人もすごく楽しそうであったという間の２時間のようでした。最後のプログラミングはやや難しかったようですが、どれくらいあかりをつけておきたいかなど、リクエストしながら反映させていました。今回、１歳半の弟も同伴でしたが、先生方のサポートが厚くて大変助かりました。
 - ・ねんどとプログラミングの組み合わせが子供の興味を引いてためになった。
 - ・かわいいものが子供と一緒につくれて楽しかったです。いい経験となりました。
 - ・子どもにとって良い経験になって良かったです。パソコン操作は子ども一人でも周りにサポートしてくれるスタッフの方が沢山いて安心しました。
 - ・子どもたちの関心を引くように考えられた内容でした。
 - ・プログラミングの体験もできて、最後に発表があったのもよい点だったと思いました。
 - ・とてもわかりやすく楽しんでくれました。
 - ・大好きな工作の部分と、普段なじみのないプログラミングを同時に学ぶことが出来て、とても満足でした。出来上がってみるととても可愛くて愛着が湧きました。自分で作った町をいつまでも大切にしてほしいと思います。
 - ・プログラミングとは？を知る機会を得られて良かった。
 - ・わたしもやってみたい。子どもを見て楽しそうだった。２回目が一番楽しそうだった。
 - ・３回とも親同伴で、少し時間がとりにくいなと思いました。（２回目は１人でもいけそう）
- プログラミングはむずかしいかと思いましたが、１回わかると子どもでもできたのと、じわーと光がつく様子がとても良かったです。

科学に対する関心度を教えてください。

- ・ とても関心がある ⑤
- ・ 関心がある ⑥
- ・ どちらともいえない ④
- ・ あまり関心がない ①
- ・ まったく関心がない

今回のイベントのように精華町では、みらいを担う子どもたちに、学研都市にふさわしい学びの機会を提供する「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの取り組みを行っています。

当てはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

- ・ 良い取り組みだと思う ⑬
- ・ 学研都市にふさわしい ⑦
- ・ 今後も継続してほしい ⑫
- ・ 精華町の子どもたちは恵まれていると思う ⑧
- ・ このプロジェクトを知らなかった ②
- ・ その他 （ ）